Q&A

2027年3月期(第55期)
第2四半期(中間期)決算説明会における質疑応答

決算説明会開催日　2026年11月13日

日本エム・ディ・エム
JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

東京証券取引所　プライム市場
証券コード：7600

Copyright © Japan Medical Dynamic Marketing, INC. All Rights Reserved.

質疑応答

Q1	米国の中間選挙や医療制度の変更は、事業環境に影響するのか。また、2026年に入ってから変化はありましたか。
A	現時点で、政策変更による米国事業への大きな影響は見込んでおりません。2026年に入ってからも米国自社事業に関する政策起因の市場環境の変化はないと認識しています。米国での市場シェアはまだ1%未満で拡大余地が大きく、政策動向よりも、医療現場のニーズに応える新製品の導入で成長につなげたいと考えております。
Q2	一部の医療機関で商談機会が減っている背景には、インフレによる病院の経営環境の悪化があるのでしょうか。
A	今回、当社の商談機会が減少した理由は、インフレによる病院経営の悪化ではないと認識しています。当社が確認しているのは、一部の医療機関で当社製品をご説明・ご提案する機会が減り、製品の採用を見送る動きもみられたと認識しています。まずは医療現場との対話を重ね、製品の価値を適切にお伝えすることで、商談機会と採用の回復に取り組みます。
Q3	来期の日本国内の販売環境は改善すると考えてよいでしょうか。
A	日本国内の販売環境は、今期と比較して改善する見込みです。来期には新製品の導入も予定しており、販売環境は今期より改善すると見ています。

将来の見通しに関する記述について
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
・実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
Copyright © Japan Medical Dynamic Marketing, INC. All Rights Reserved.